
class... 番外編 ~ 通知表 ~

桜実保乃佳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

class... 番外編 通知表

【Nコード】

N9270R

【作者名】

桜実保乃佳

【あらすじ】

終了式 通知表ということを書きましたっ♪

今日は終了式。

離任式と終了式をぶっ続けでやる、校長の話が長くて長くてしょうがない、しかしちゃんと聞いていなければ辺りにいる教員たちに叱られてしまう

欠伸をしそうな生徒も一生懸命にこらえている

笑いそうな生徒もいた、なぜならば話をしている校長の髪が寝癖なのか1本だけはねているからである

髪だけは念入りに手入れをする校長だったため髪がはねているところなんて誰も見ていない
だからこそ笑えるのだ

水気朋、名橋美華、橘川志菜、木谷涼美、工藤新一、毛利蘭、鈴木園子も疲れたのか欠伸を1つ

慌てて朋は口を塞いだ

1番前の列だから、みつかったら先生がすぐに飛んでくるし、下手したら校長と目が合ってしまう

多分、朋の内心は 皆、欠伸してもばれなさそうだからいいなあ…
と思っていることだろう

何とか終了式が終わり次は離任式

5人の教師が退職、移動になった

その中には授業でお世話になった教師や部活の顧問がいた

「以上を持ちまして終了式および、離任式を終了いたします。1年
A組の生徒から各教室へ戻ってください。」

教頭が言つと、生徒は退場して行つた

「やあーつと終わったあーつ！！校長先生の話長すぎじゃない？も
うちよーい短くつてもいいよね！」

愚痴を言う朋

他の皆は苦笑

「あー、そーいえば、帰ってきちゃうね…、通知表…。」

美華の言葉で一気に静まり返った

「もうちょつと空気を考えなさい?」

と涼美

美華はゴメンゴメンと謝る

溜め息をつく人たち

途中で涼美、新一と別れ、4人は教室へと戻った

少しの休み時間

通知表の話で持ちきりである

「アタシ、5教科の中で理科が自信ない。」

「結構、アタシ、音楽自信あるかもっ」

色んな声が出てくる

そんな風に話していると担任が通知表とその他のプリントを持って教室へと持ってきた

全員、一斉に席に着き大人しくなる

「じゃあ、まずは、委員会のプリントがあるから学級委員長さんと副委員長さんお願いね。」

あと学芸だよりがきてるから学芸委員お願いね。」

朋と志菜は学芸委員でプリントを配るため、前に出る

プリントを配り終わると席に戻った

「さて、プリントを配りあえたところだし、そろそろ通知表を渡すわよ。」

きたーあ、とか、ええーといった声

出席番号順に前の人から廊下に出て通知表をもらう

志菜、園子、美華、朋、蘭の順でもらうということになる

新一たちのクラスも同じだった

通知表を息を吞んでみる生徒もいた

そして帰りの連絡等も終了し、新一と涼美と合流して帰ることに

帰路

「ねえ、通知表どうだった？新一。」

笑顔で聞く蘭

新一は蘭をチラリと見ると

「オール5…。」

と微妙に素っ気無く答える

「……うっそお——っ！！！！」

声が響いた

生徒が一斉に新一たちのほうを向く

蘭たちは恥ずかしそうにお辞儀をしてまた歩き出した

「あ、あの…わ、私も…。」

可愛らしく挙手する志菜

再び驚きの声が響き、先ほどと同じに…

「何、2人とも頭、よすぎすぎるい！別の意味で絶対に頭がおかしいよー！」

「「^っつていわれてもなあ……」」

声が重なる2人

「私、4が一個だけあつた……。あとは5！」

「アタシも……」

「……貴女たちこそ頭、半端ないよ。」

苦笑する朋

「アタシ、実技が音楽以外3だったんだよ！5教科のうち5が2つしかないんだよー！」

と朋

皆、苦笑する

「まだいいじゃない！アタシなんか5教科の仲に5という数字がいつもなかったのよー！」

「私もよ、4しか……。」

と蘭と園子

「…じゃあ、話は簡単！工藤君、しーちゃん、みー、涼美、勉強教えてー！」

頭を下げる3人

「べ・別にいいけど…。」

と志菜

「困っちゃうなあーっ」

と美華

「まあ…」

と新一

「いいよ、別に」

と涼美

朋らは喜んだ

土日、新一の家で勉強することになった…

（後書き）

何かありましたらヨロです！

平成23年3/25 桜実保乃佳

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9270r/>

class... 番外編 ~ 通知表 ~

2011年10月6日22時30分発行